

セ タガヤ ボ ン テ ィ ア ネ ツ ト ワ ー ク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン
<https://www.otagaisama.or.jp/>

2022.3 No.215

今月のトピック

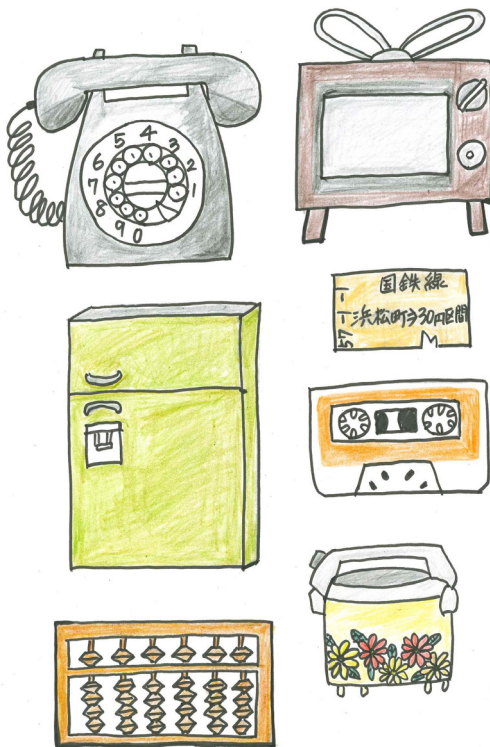
特集●

民生委員という名のボランティア

まちの市民力！ ●昭和を語る男の会

せたがや災害ボランティアセンターレポート

～第4回防災シンポジウム～



イラストレーション● ぺき こじろう

東京オリンピックイヤーに生まれました。

主婦歴 30 年のバリキャリウーマン。

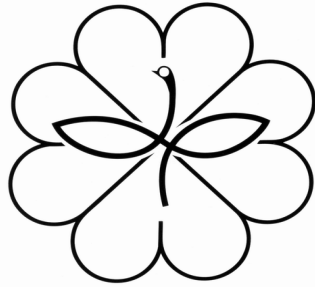
●わたしの世田谷

緑豊かな世田谷に引っ越してきて早 20 年。たぬきを散歩させる人に遭遇するなど、まだまだ知らないことがたくさん魅力ある世田谷！

民生委員という名のボランティア

民生委員、児童委員ってよく聞きますが、いったい何をしている人なのでしょう。身近に委員を任じている人がいるのに、よくわからない。大変そうな仕事なのに、ボランティアなんですか？ そんなハテナから、「世田谷こどもいのちのネットワーク」では、そもそも民生委員・児童委員ってどんな役割を、どんな立場でやっている人たちなのかを知るべく、学習会を行いました。

お話しくださったのは、^{ふくしまともこ}福島智子さんと^{みき}三木かな子さん。



民生委員・児童委員マーク

民生委員の歴史は古い

世田谷区のホームページには、「民生委員・児童委員は、厚生労働大臣の委嘱を受けた特別地方公務員であり住民の立場に立った相談・助言・援助を行い、関係機関等と協力して地域保健福祉の推進、児童福祉の向上をめざして活動しています」とあります。

そもそも、民生委員制度はどんな歴史をたどってきたのでしょうか。^{まつたけいさのぶ}福祉の歴史は江戸時代の松平定信の時代にさかのぼり、困った人を助けるという考えが基本となっています。大正6年に大津波があり、東京に慈善協会ができたのが民生委員の始まりで、100年以上前のこと。

第二次世界大戦の時に、東京で初めて組織的な生活実態調査が行われ、携わったのが「方面委員」と呼ばれる人たちでした。困っている人の支援と社会調査を担い、必要に応じた援助を世帯ごとにし

ていました。戦時中は、役所がやるような仕事も担い、1946年には方面委員が民生委員に改められ、困窮者支援だけでなく、広く人びとの生活全般を見守る役割を果たすことになったのです。

「お風呂券」で

一人暮らしの人とつながる

三木さんは、主任児童委員制度が発足した1994年1月に主任児童委員になりました。主任児童委員は、現在、まちづくりセンター毎に2人。担当地域はまちづくりセンター内全域です。

「半年前から人選が始まり、PTAの役員をやっていた時でしたから、声をかけられたのでしょう。義母も民生委員をやっていたので「受けてあげなさいよ」と後押し。だから第一期生です。学校のいじめ問題が最初の取り組みでした。こどもいのちのネットワークが「いじめよ、とまれ！」を合言葉

【民生委員・児童委員マーク】

幸せの芽生えを示す四つ葉のクローバーをバックに、民生委員の「み」の文字と児童委員を示す双葉を組み合わせ、平和のシンボルの鳩をかたどって、愛情と奉仕を表しています。

出典：世田谷区ホームページ



お話を伺った三木かな子さん

にして立ち上がったのが96年1月で、三木さんも福島さんもその輪に加わりました。三木さんは主任児童委員が定年で終わっても、そのまま区域担当の民生委員に。

民生委員の仕事は、なかなか外からは見えにくいのですが、例えば、と話してくれたのが「お風呂券」。家にお風呂がない人、お風呂が壊れて入れない人、掃除をするのが大変な人、一人暮らしの人、ひとりでは入るのが難しい人。該

当する方に通常 高齢者に配付される数より多くお風呂券が発行されますが、その場合、行政から依頼書が来ます。行政につながっていない入浴券を希望している人を訪ねてください、と。聞き取り調査です。

余談ですが、お風呂券の配布の話聞いて感じたことがあります。「お風呂券をもらったけれど、行くところがない」という現実です。経営が成り立っていないので廃業するお風呂屋さんが続出。でもお風呂屋さんはお年寄り、一人暮らしの方にとって絶対に必要なもの。区が借り上げてサービス公社が運営するなど、生き残りの道を考えなくてはならないのではないのでしょうか。お風呂券以前の重大な問題だと思えます。

子どもの見守りをどうするか

民生委員は児童委員を兼ねています。民生委員というと、お年寄

りの見守りをする、というイメージが強く、確かに、区からの依頼で行政サービスを利用していない高齢者のお宅を訪問し、あんしんすこやかセンター等の案内をしています。しかし、児童委員としての役割である子どもを見守ることに関しては情報がなかなか届きません。個人情報保護、という障壁に阻まれます。三木さんは、これからは子ども、そして親をどう見守っていくかが大きな役割、といっています。

「自分の子どもが通っている学校以外の地域の子ども情報の情報はなかった。児童館の手伝いに行きました。若いおかあさんの言葉に耳を傾け、母親はいろいろと悩んでいることもわかりました。児童館の館長やスタッフの方もなんとなく気づいています。子どもとの接し方など心配ごとがある時は、複数の人間が周りにいることが大切です。主任児童委員として言い続けてきたのは、子どもが生



1月27日(木)に、民生委員・児童委員についての勉強会を世田谷ボランティアセンターで行いました。講師は、三木さんと福島さん。

まれた家庭に半年間でいいから、児童館だよりをポスティングさせてほしい、ということでした。昨今は洗濯ものを外に干さなくなっているので、子どものいる家庭がなかなか把握できないのです。」

大人も若者も、

「助けて!」と言っている

「子ども食堂に、本当に必要としている子に来てほしいと思って、なかなかたどり着けません。必要としている子が近くにいることを、近くで見守る人がわかっていないと対策がとれません。知らない大人についていくな、と言われている世の中ですから、大人が声掛けしても引かれてしまっています。本来に来てほしい人に届いているのかわからない、というのが現状です。子どものことで大変な時は、大人も『助けて!』と言っているんだ、と言いたいです。若者もそう。何とかつながってきたいです。」

現在はどのようになっていくか不明ですが、かつては、PTAに校外委員という委員会があり、その委員は地域ごとに出ていて、行事の手伝いをしながら、子どもたちを見守るという体制がありました。

た。三木さんは、中学のPTA総会が最後のチャンスと想っています。

「中学の時ならまだ、誰かが気が付いたら学校や子ども家庭支援センターに繋ぎ必要な支援ができることもありすが、卒業後は、それぞれ違う進路に進むので親たちの関係も希薄になりやすくなります。高校生になった若者たちが友人の悩みを聴いても、心配はするけど、何処に誰に相談したらよいのが知らないで『まず、親である皆さんが友人の事で心を痛めている我が子に手を差し伸べてあげてください』と親に対して最初で最後をお願いをしています。」

北沢地域では初めての試みとして小中学校の卒業生・小学校新入生に向けて「民生委員存在アピールお手紙」を各校にお願いして配付することになりました。支援の仕組みをどうぞ使ってください、と。若者たちが支援にもう少し早くたどりついていれば、と思うこ

ともあります。「民生委員・児童委員」でも「区の若者支援担当課」でも「チャイルドライン」でも「せたホツと」でも、どこでもいいからちよつと困った時に相談してみてと。

そして、「若者たちが『若者支援に関わりたい』というやる気を出してやっていくことは支援したいですね。バイトをする代わりに活動を有償にするとかも考えていいのでは」とも。

地域の子どもたちのことを知ろうと、学校公開週間には各学校に一度は顔を出しています。気になる子どもがいれば、掲示物を見たり、副校長に話を聞いたりしています。かつては先生が家庭を訪ねる「家庭訪問」があり、学校以外でも子どもいろいろな顔が見え、家庭とのつながりもできました。先生も親も多忙で、今はなくなってしまうしたが、そういう関わりもこれから必要とされるかもしれません。

民生委員のこれから

さて、民生委員はまったくのボランティアなのでしょいか。

三木さんは言います。

「民生委員としての報酬はもらっていません（交通費や通信費などの実費は支払われます）」三木さんの個人的な思いですが、次の世代の担い手を見つけるのが難しいことは事実のようです。人数合わせとは違います。誰でもいいわけではない。民生委員の活動に興味はあるけれど、民生委員の活動が皆さんにあまり知られていないため、一歩踏み出すのが難しい事もあるでしょう。

コロナ禍の現在、民生委員活動は大きく変わりました。高齢者にはさまざまな方面から目配りができるようになっています。「あんしんすこやかセンターのサポートも充実してきているので、活動内容が以前とは、ずいぶん違ってきていると感じている」とも。

とはいえ、まちづくりセンターが区内28カ所に配置されるようになり、行政もどんどん地域に出ていかななくてはならなくなっている今、民生委員の役割もかつてと同じでは決してなく、また、次の若い世代が参加するためには、今までのやり方が当たり前、という考えも見直す時期に来ているように思えます。「知ること」がまず大切、と思わされた会でした。

今年12月の改選期に向けて、辞めようとしている民生委員の方たちは、次の担い手を探している真つ最中です。今回の学習会が、民生委員・児童委員の仕事がどんなものかを知り、地域の中で果たす役割は今後、特に若者や子どもを見守る上でとても大切なものであることを理解する助けになれば、そして引き受けてみよう、という方の背中を押すことになれば、と願っています。

（文責／編集委員 星野 弥生）

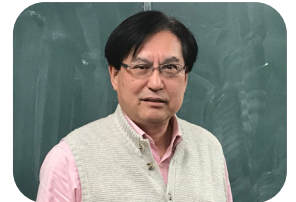
懐かしい昭和の話で楽しもう
「昭和を語る男の会」



まちの 市民力!!

取材・中部 香世

●
街の中で地域やそこで暮らす
人たちと一緒に活動している
団体を紹介します



参加者の小池正昭さん

玉川ビュローで毎月一回開かれて
いる「昭和を語る男の会」を
ご紹介します。この会は男性だけ
のおしゃべり会です。男性限定な
のは、女性がいる会だとして
も話づらい、男だけの会があっ
てもいいのでは、という声を受け
てのことです。シニア世代が現役
バリバリだった『昭和』をキーワ
ードに、毎回15人ほどが趣味や昔の
思い出話に花を咲かせています。

企画のきっかけは、地域の福祉
担当者が集まる会議で、玉川地域
でも孤独死が増加しているという
事実を聞かされたことでした。近
所に知り合いもおらず話し相手
がない、外にもあまり出ないとい
う男性もいることから、気軽に参

加でき、楽しく過ごせる雰囲気づ
くりをこころがけています。

12月24日の会には、60代から90
代の男性が集まりました。前半で
自己紹介を兼ねて「今気になって
いること」を、そして後半では前
半で話題となった「地域の歴史」
と「最近の政治・経済」という2
つのグループに分かれてフリー
トークを楽しみました。

第1回目の2021年4月は
「鉄道」がテーマでした。鉄道好
きが集まって、懐かしの玉電から
世界の鉄道の話題まで、大いに盛
り上がりました。現在は当日の参
加者から出たお話をもとにテーマ
としています。

会が始まったときからの参加者

で、今では仕切り役を買って出
てくれている小池正昭さんは、居酒
屋トークのような自由さが楽しい
と言います。参加者の中でも30歳
ほどの年齢差があり、世代の違い
や意見の違いから毎回いろいろな
ことを学んでいるそうです。

今では常連の参加者のほか、地
域のまちづくりセンターやあんし
んすこやかセンターで聞いて来た
方、また時には家族が見つけて申
し込んだ方など、様々なきっかけ
で集まった人たちが、楽しい午後
のひとときを過ごしています。

たまには男性だけで話したい、
趣味の話で盛り上げたい、とに
かく誰かと話したいという男性
陣、ぜひおいでください。

『昭和を語る男の会』

毎月第4金曜日 13時半～15時半
場所／玉川ボランティアビュロー
対象／玉川地域の60歳以上の男性
※お休みの場合あり。詳しくは玉
川ビュローボランティア日より
などをご覧ください。

『第4回防災シンポジウム』

北沢タウンホールで、1月15日に「在宅避難とボランティア」をテーマにシンポジウムを行いました。避難所運営を担う町会・自治会のメンバー、民生委員、災害ボランティアコーディネーターなども含め100名を超える参加者がありました。その多くは、オンラインでの参加でした。



パネリスト

- ① 国土館大学助教 浅倉大地氏 (あさくら だいち) ② 福島県楡葉町在住 猪狩秀一氏 (いのかり しゅういち)
③ 世田谷ボランティア協会 横山康博 (よこやま やすひろ) ④ 久我慶子 (ことが けいこ) (司会)

第1部では、ボランティア協会の職員2名の掛け合いで『在宅避難の問題提起』を紹介し、第2部で、3名のパネリスト(写真)によるパネルディスカッションを行いました。

世田谷区の地域防災計画にもとづく指定避難所が全て開設されても、全区民の2割程度の受入れ能力しかなく、8割の区民は他の避難方法を探らなければなりません。それに、避難所での狭い生活スペース、トイレの不足や不便、食事、健康面での懸念など避難所生活の問題点を考えると、他の避難生活をしっかりと想定する必要があります。

猪狩氏からは自宅を離れて遠隔地で暮らすことの想像以上の大変さが紹介されました。こうして在宅避難に関心が向けられることになりませんが、在宅避難は、早期の復旧復興のために最も望ましい避難方法であるという点でもパネリストの意見が一致しました。

続いて、在宅避難に向けた建物や家具などの事前の備えについて、一級建築士である谷口良太さんの映像による解説を受け、さらにライフラインが使えない在宅避難生活を想定して、どのような生活物資をどのくらい備蓄すれば良いのかを検討しました。

実際に災害が発生したときは、被災建物に在宅避難に適した安全性があるかどうかを自己判断しなければならぬことも大きな課題です。

在宅避難者の困り事には、ボランティアが長期的な支援を続けていきます。ボランティアの支援を要請する在宅避難者からの声がサテライト(ボランティアの支援拠点)に届きやすくなるような、様々な仕組みを考えていきたいと思っています。

※第4回シンポジウムの様子は、YouTubeのせたがや災害ボランティア公式チャンネルでご視聴頂けます。

ご相談ください

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをつなぐ橋渡しをしています。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、人と会ったり、集まったりすることが難しい状況ではありますが、困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるのかわから

ないという方は、電話でご相談ください。
電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター
TEL 5712・5101

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合つことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生・高校生の個別の学習支援に取り組むボランティアを探して紹介しています。

現在、新型コロナウイルス感染症防止のため、オンラインでの学

習支援にも対応しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。お気軽にご相談ください。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 原口
TEL 5712・5101
haraguchi@otagaisama.or.jp

ボランティア求む

京 買い物支援ボランティア募集

上北沢に住む軽度の知的障害がある女性が買い物をする時に、一緒に同行してくれる方を募集します。食や栄養に興味・関心のある女性の方にお願ひしたいです。特に資格は必要ありません。地元の商店などに詳しい方を歓迎いたします。

●日時／主に日曜・祝日で月2回

くらいで1〜2時間程度
●場所／上北沢を中心とした京王線沿線のスーパー・商店街など
●交通／京王線沿線
●問合せ／砵ボランティアビューロー準備室 担当 池田
TEL 6411・4007
kinutabor@otagaisama.or.jp

京 小学3年生男子の学習支援をしてくださるボランティア募集

不登校ぎみの小学3年生に、算数と国語をやさしく教えてくれる人を求めています。字を書くのが苦手で、ちょっと恥ずかしがりやですが、ブロックやゲーム、料理、お菓子作りが好きです。ボランティアさんと一緒に、算数ドリルや漢字カードに取り組めたらと思っています。

どこがわからないのかを探りながら、つまづいている部分を丁寧

に教えてほしいです。まずはお問合せください。
●日時／曜日時間は応相談（1〜2週間に1回、1時間程度）
●場所／自宅（上北沢）
●条件／大学生以上、性別不問、交通費支給（上限あり）
●問合せ／梅丘ボランティアビューロー
TEL 3420・2520
umebora@otagaisama.or.jp

東

チャリンコの発送準備のボランティア募集

せたがやチャイルドラインでは、4月に世田谷区の小学校から高校までの子どもたち全員に広報紙「ちゃくら」を届けています。チャリンは10万部！ 枚数を数えて、学校ごとに梱包します。子どもたちのためにお手伝いして下さる方、短い時間でも構いませんので、ご協力をお願いします。参加可能な日時をメールアドレス

スか電話にてお気軽にご連絡ください。

●日時／4月2日(土)、3日(日)

両日①10時～12時②13時～16時

●場所／世田谷ボランティアセンター

●問合せ／せたがやチャイルドライン事務局 担当 小畑・樽井

TEL 5712・5101

childline@otagaisama.jp

東

食事作りをして下さる方募集

駒沢のお寿司屋さんの居抜き店舗にて地域サロンの活動をしています。手作りのランチ、お弁当作りに協力して頂ける方を募集しております。無償ボランティアさんの募集ですが、ご希望の方には食事を代金半額で提供しております。お気軽にお声掛けください。よろしく願います。

●交通／駒沢大学駅徒歩10分
●条件／不定期でも可能ですが毎週来て頂けると助かります。
●問合せ／NPO法人コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ 担当 佐々木

080・3019・5377
wave@ngo-npo.org
http://www.ngo-npo.org/wave/

東

小学生の下校に付き添ってくれるボランティア募集

等々力にある児童福祉施設が、小学校低学年の子ども(3人)の下校に付き添ってくれるボランティアを探しています。朝はボランティアも一緒に登校しています。夕方は毎日施設の職員と帰っています。たくさんの方と関わって楽しい登下校になればと思うので、ご協力いただける方がいればうれしいです。

送迎は施設の職員1名と一緒にいきます。学校のある日は毎日迎えに行きますが、週一回からでも

構いません。ご応募お待ちしております。

●日時／月～金曜日の17時過ぎ(または17時25分小学校)～18時10分頃まで

●場所／小学校から等々力の施設まで徒歩35分程度

●条件／交通費支給、施設にてボランティア保険に加入

●問合せ／玉川ボランティアビューロー

TEL 3707・3528

tanabor@otagaisama.jp

東

土曜日に遊んでくれるお兄さん・お姉さん募集

特別支援学校に通う小学2年生の男の子と、土曜日に一緒に遊んでくれるお兄さん・お姉さんを探しています。元気に外で遊ぶのが好きですが、学校のない土曜日は家で過ごすことが多く、寂しい思いをしています。一か月に1、2回でもいいので、外で思い切り体を動かしたり、散歩に連れて行ってくれるとうれしいです。お兄さん・お姉さんが大好きな、人懐っこい男の子です。

●日時／土曜日午後(月に1～2回)

●場所／自宅(等々力)や付近の公園など

●条件／大学生・30才くらいの方 交通費支給

●問合せ／玉川ボランティアビューロー

TEL 3707・3528

tanabor@otagaisama.jp

有償スタッフ募集

東小京

ひとり親家庭の子どもの遊び相手・宿題等の
見守り・夕食作りなどしてくださる方募集世田谷区内の家庭にお伺いし、
子ども(保育園〜小学生)の遊び
相手・宿題等の見守り、夕食作り
などをしてくださる方を探してい
ます。親御さんが多忙や不調で余裕が
なかったり、お子さん自身がサポ
ートが必要としているご家庭で、
お子さん、親御さんともに安心し
て楽しく過ごせるよう力を貸して
いただけたら幸いです。学生さん
からシニアの方まで大歓迎です！
詳細は電話か、ホームページか

らメールでお願いいたします。

●日時/月々金曜日17時〜21時
2〜3時間程度。週1日程度か
ら。ご家庭ごとで異なります。

●場所/世田谷区や近隣区

●交通/小田急線・京王線・田園
都市線・東横線など

●申込み/電話かHPから

●問合せ/NPO法人日本子ども
ソーシャルワーク協会

担当 波多野・阿知波

TEL 5727・2133

http://www.jcsw.jp/

講座・その他・募集

小 もとと語ろう不登校 Part 265

これまで26年にわたって、さま
ざまな方々の分かち合いの場とな
ってきました。「自分だけではな
かったんだ」と知るだけで心が軽
くなります。初めての方も、お誘
い合わせの上、どうぞお気軽にご
参加ください。

●日時/3月5日(土) 14時〜

●場所/NPOフリースクール僕

fshou@ahoco.jp

090・3905・8124

と語ろう不登校」担当 高橋

ZOOM会議にて

交通/梅ヶ丘駅徒歩10分

条件/事前申し込み制

問合せ/世田谷区こどもいのちの
ネットワーク第3分科会「もっ

と語ろう不登校」担当 高橋

東

「NPO & 市民活動応援セミナー」
「実践者とコミュニケーション・西川正さんに学ぶ」
「コロナ禍だからやってみた」*0歳児親子の育ち子育て集会所前半は、0歳児子育て当事者の
ストレス・孤独など、直接聞いた
り、SNSの投稿で悲痛な叫びを
拾ったことをきっかけに、コロナ
禍だからこそ「いま必要な支援を」
と立ち上がった団体事例「かみき
た子育て集会所」についてご紹介
します。後半は、事例登壇者の哲子真
未さんとコミュニケーション・
西川正さんから、日頃の市民活
動やNPO法人のお悩みを共有し
ながら解決する「運営もやも道
場」を行います。悩みのつきない
みなさまのご参加、心よりお待ち
しています。※事前申し込み制です。3月5日
(土) 12時まで

●日時/3月6日(日) 14時〜16時

●場所/世田谷区役所第3庁舎3
階/ライオンホール

●交通/松陰神社前駅徒歩5分

●参加費/無料

●申込み/電話かメール。メール
は件名に、「コロナ禍での市民
活動・参加希望」とし、本文に
①氏名②所属③電話番号④参加
動機⑤相談事項をご記入下さい●問合せ/世田谷ボランティアセ
ンター 担当 大垣内

TEL 5712・5101

npo-seminar@otagaissam.or.jp

npo-seminar@otagaissam.or.jp

npo-seminar@otagaissam.or.jp

npo-seminar@otagaissam.or.jp

東 NPO・市民活動相談

世田谷ボランティア協会では
ボランティアグループ・任意団体
の立ち上げや運営に関する相談
や、NPO法人の設立も含めたN
PO・市民活動に関する基礎的な
個別相談にも応じています。グループの運営に悩んでいる、
助成金情報を知りたい、NPOつ
て何? など、いろいろなご相談を受けています。すでに活動して
いる方も、これから何か始めたい
方も、個人・団体問わず相談可能
です。まずは電話でお問合せくだ
さい。(相談無料、事前予約制)●問合せ/世田谷ボランティアセ
ンター 担当 大垣内

TEL 5712・5101

npo-seminar@otagaissam.or.jp

npo-seminar@otagaissam.or.jp

npo-seminar@otagaissam.or.jp

npo-seminar@otagaissam.or.jp

せたがや福祉区民学会 第13回大会「希望につながる新たな一歩」

せたがや福祉区民学会は世田谷区の福祉向上を目指し、年1回、世田谷区内の大学を会場に、大学、事業者、区民、行政が一堂に会し、発表を通じて実践活動・研究を深め合うものです。

第13回大会も世田谷区福祉人材育成・研修センターホームページ上で公開します。

今大会では「学びあい、広げよう」せたがや福祉の輪『希望へつながる新たな一歩』をテーマに、三軒茶屋内科リハビリテーションクリニック院長・せたがや福祉区民学会会長の長谷川幹氏による基

調講演の他、「子ども・若者が輝くまち 世田谷」や「地域をつなぐネットワーク」など7テーマ49本の事例発表を公開します。詳細はホームページをご覧ください。

●公開期間／2月19日(土)～3月18日(金)

●公開場所／世田谷区福祉人材育成・研修センター・せたがや福祉区民学会ホームページ

●問合せ／世田谷区福祉人材育成・研修センター 担当 村木
TEL 6379・4280

t.muraki@otagaya-jci.jp
<https://www.otagaya-jci.jp/>

小 子育て家庭・不登校に寄り添う 訪問ワーカー養成講座

子育て家庭や不登校のお子さんを支える訪問ワーカーとして活動してくださる方を募集しています。

この講座では、子ども・若者・家族をめぐるさまざまな問題(虐待、不登校、いじめ、非行など)や、子どもと関わる上で大切なことについて、講義やグループワークを交えて考えていきます。活動に関心のある方は、どうぞお気軽にご参加ください。

●日時／2022年4月16日(土)

13時半～16時半

●場所／喜多見地区会館(世田谷区喜多見8・23・23)

●交通／喜多見駅徒歩3分

●参加費／一般1000円
学生500円

●申込み／電話かHPから

●問合せ／NPO法人日本子どもソーシャルワーク協会
担当 波多野・阿知波

TEL 5727・2133
<http://www.jcsw.jp/>

せたがやチャイルドライン寄付・ご支援のお願い

①寄付・ご支援のお願い

せたがやチャイルドラインは、18歳までの子どものための電話です。電話を受けるのは研修を受けたボランティアです。

通常はバザーや手づくり品の販売などで活動資金の一部を調達していますが、イベントの中止などにより、活動資金を確保することが難しくなっています。子どもをささえる活動を支援するため、ご寄付の協力をお願いいたします。

●郵便振替口座にお願いします。

●口座番号／
00150・8・279963

●加入者名／社会福祉法人世田谷ボランティア協会

※この口座への寄付は所得税の寄付金控除の対象にはなりません。通信欄に「寄付申込書せたがやチャイルドライン」とご記入ください。

②講義集の販売

受け手講座の内容をまとめた講義集「子どもに育ててもらったおとなたち」をメールでご注文いただけます。この講義集は受け手養成講座のテキストでもあり、せたがやチャイルドラインが大切にしている「子どもへのまなざし」がぎゅっと一冊にまとめられています。受け手講座に関心のある方や、子どもとのかかわりに悩む大人の方にもぜひ読んでいただきたい内容となっています。

●価格／1冊1000円(税込)。

●支払いは後日お振込みとなります。(別途送料)

●注文方法／郵送ご希望の方は「名前・送付先住所・電話番号・冊数」をご記入のうえ、メールでお申し込みください。

●問合せ／せたがやチャイルドライン

TEL 5712・5101
childline@otagaisama.or.jp

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

●いのちを大切にすところ「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにとまなう「困った!」を話せるところ●

- 地域障害者相談支援センター ぽーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

前回好評だった「NPO & 市民活動応援セミナー」を、3月6日(日)に開催します。まだ若干空きがありますので。詳細はP.10をご覧ください!

◆ふらっと& with より

春は必ずやってくる。寒い冬から抜け出して思いっきり深呼吸できる日、外に出ることができる日を待っています。皆さんも一緒に、散歩しませんか?

◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

◆チャイルドラインより

これから春休みが入り、いろいろな気持ちを抱えている子どもたちがいるかと思います。そんな時は気軽にチャイルドラインに電話やチャットをしてみてくださいね。

編集後記

- 今回の特集は、民生委員・児童委員についてです。私自身も、詳しく分らなかったのが勉強になりました。皆さんもぜひご覧ください。
- まちの市民力の「昭和を語る男の会」はいつも多くの男性が参加して賑わっています。私がシニアになったら「平成を語る男の会」に参加したいです(笑)
- ボランティアニーズが増加してきています。皆さんの力を必要としている方がいます。P.8からご覧ください。(近藤)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<https://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
横山 康博

